

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年11月28日

**新型コロナに続発した静脈血栓塞栓症の危険因子
新型コロナパンデミックによるがん検診の遅れ**

【松崎雑感】

喫煙が新型コロナの合併症を増やすというデータ。

新型コロナががん検診を遅らせ、救える命を救えないおそれがあるというデータ。

がん予防のためには、今すぐ禁煙、そして検診を！

新型コロナに続発した静脈血栓塞栓症の危険因子

Elmokadem AH (Department of Radiology, Mansoura University, Elgomhoria St., Mansoura, 35516, Egypt) , Bayoumi D, El-Morsy A, Ehab A, Abo-Hedibah SA. Relationship of the pulmonary disease severity scoring with thromboembolic complications in COVID-19. *Emerg Radiol*. 2021 Nov 20:1–13. doi: 10.1007/s10140-021-01998-z. Epub ahead of print. PMID: 34802067; PMCID: PMC8605895.

新型コロナによる静脈血栓症とCT所見、背景危険因子の関連を検討した。静脈血栓症を合併した新型コロナ患者185名（男性99名、女性72名、平均55.1才）。BMI30以上、喫煙、高血圧などが静脈血栓症と有意に関連していた。

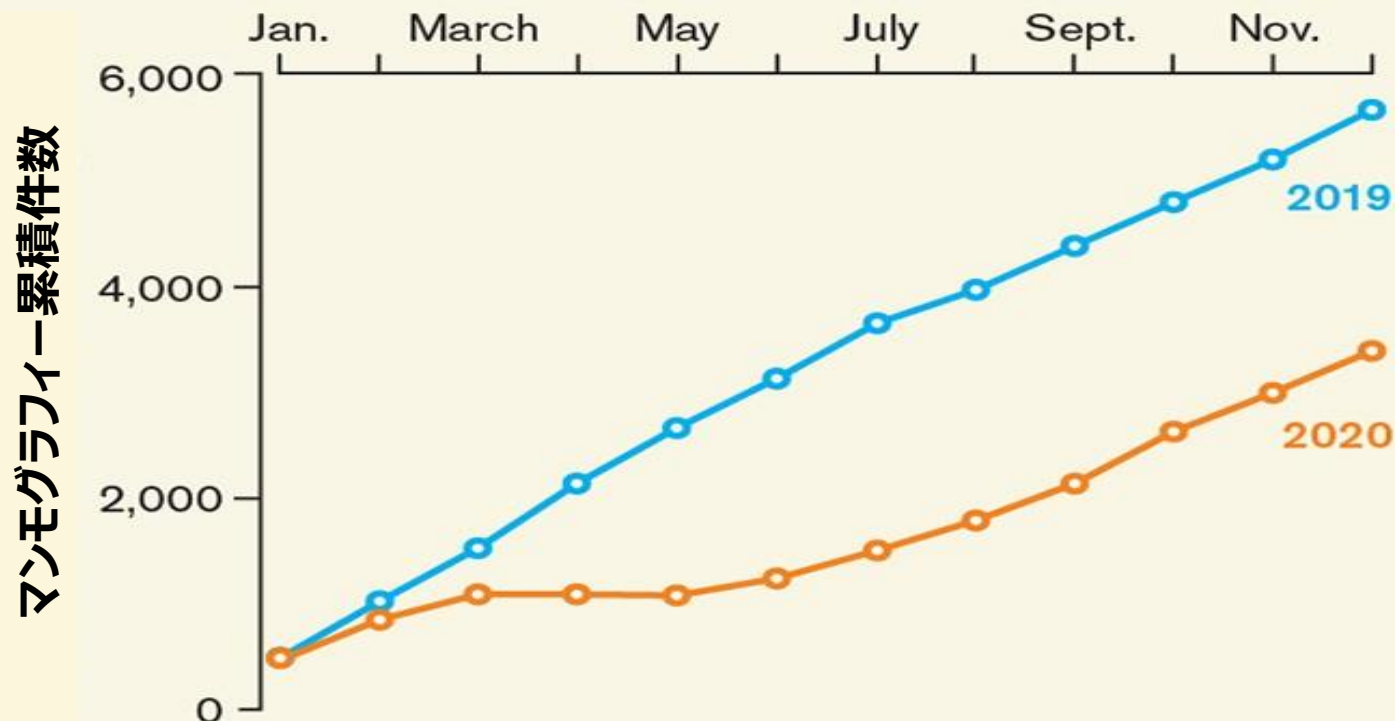
血栓塞栓症危険因子	オッズ比
肥満 (BMI30以上：身長170cmで体重87kg以上)	2.9倍
喫煙	2.7倍
高血圧	3.2倍
糖尿病	1.2倍

新型コロナパンデミックによるがん検診の遅れ

McFarling UL. **The COVID Cancer Effect.** Nature. 2021 Nov 26. doi: 10.1038/d41586-021-03404-7. Epub ahead of print. PMID: 34837049.

サンフランシスコ某病院における新型コロナパンデミック前後のマンモグラフィー累積件数

保険の有無にかかわらず患者を診察する「セーフティーネット・ホスピタル」におけるマンモグラフィー累積件数。2020年1～2月は前年と同じレベルだったが、12月までの累積検査件数は前年から半減した。



新型コロナパンデミック前後の米国におけるがん診断数の推移

新型コロナ感染の増減に伴ってがん診断数も大きく変動した。がん種毎の診断件数の低下は将来の治療成績にマイナスの影響をもたらすだろう

